

## 第2章 被害状況

### 1 気象状況

#### (1) 台風26号

##### ア 気象庁情報

(ア) 台風26号は、平成25年10月11日(金)3時にマリアナ諸島の近海で発生し、14日(月)3時には沖の鳥島近海で非常に強い勢力となった。その後、台風は日本の南の海上を北北西に進み、15日(火)午前には南大東島の東の海上で次第に進路を北東に変え、16日(水)未明から朝にかけて強い勢力を維持したまま伊豆諸島や関東地方に最接近した。

(イ) 台風は、その後速度を速めて関東の東海上を北東に進み、16日(水)15時には三陸沖で温帯低気圧に変わった。

(ウ) この台風の接近に伴い、16日(水)未明から明け方にかけて伊豆諸島北部を中心に非常に激しい雨となった。特に、大島(元町)では、1時間に122.5mmの猛烈な雨が降り、24時間降水量では824.0mmと10月の月降水量平年値(329.0mm)の約2.5倍の雨を観測し、いずれも観測史上最高値を記録した。

<10月15日(火)11時時点の台風26号に関する気象情報(大島)>

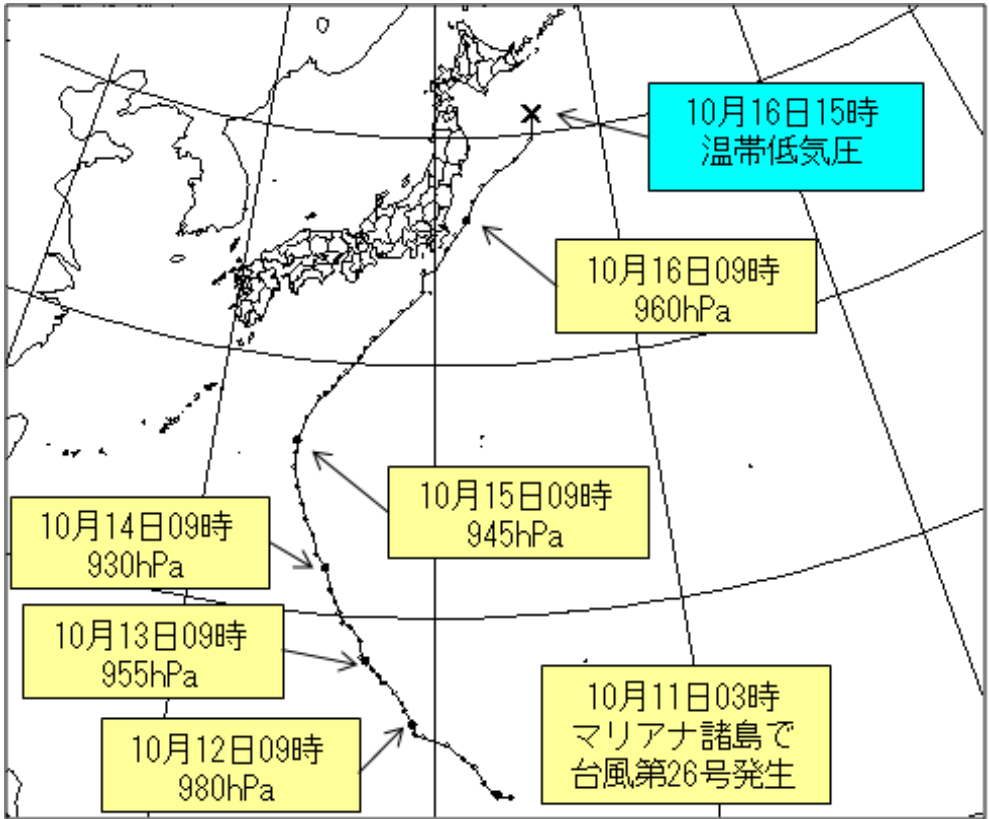
- ・雨量：15日(火)夜のはじめ頃から16日朝にかけて1時間最大50mm
- ・風：16日(水)明け方から朝にかけて南東後西の風28m/s
- ・波：16日(水)未明から夕方にかけて6mから8m

※10月15日(火)11時から12時まで、都庁第一本庁舎9階の防災センターにおいて、東京都と気象庁共同で台風26号説明会を開催した時の予報である。

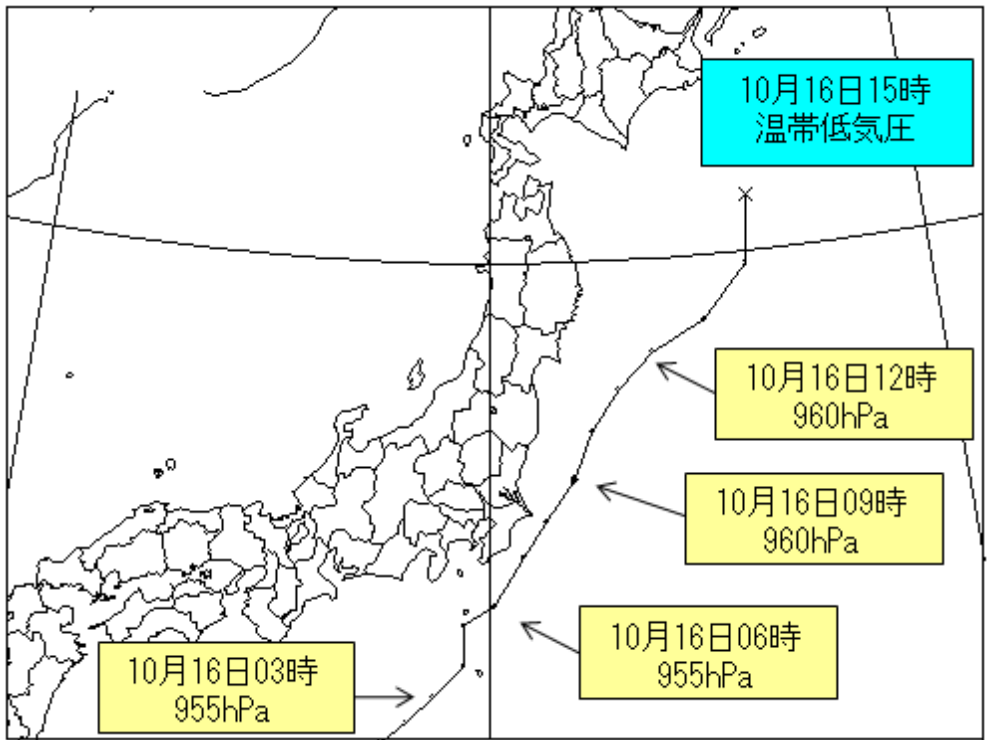
(エ) 降り始め(15日(火)6時)から16日(水)15時までの降水量は、大島(元町)で824.0mm、大島北ノ山で412.5mm、東京(大手町)及び江戸川臨海で246.0mmを観測した。

(オ) また、台風の接近により風も強まり、最大風速は、八丈島で南南西25.0m、神津島で北北西24.4m、大島で北19.8mを観測した。最大瞬間風速は、八丈島で南南西44.7m、神津島で北北西39.1m、大島で北35.3mを観測した。

(カ) 海上では、14日(月)午後から波やうねりが高くなり、16日(水)は伊豆諸島で10mを超える猛烈なしけとなった。

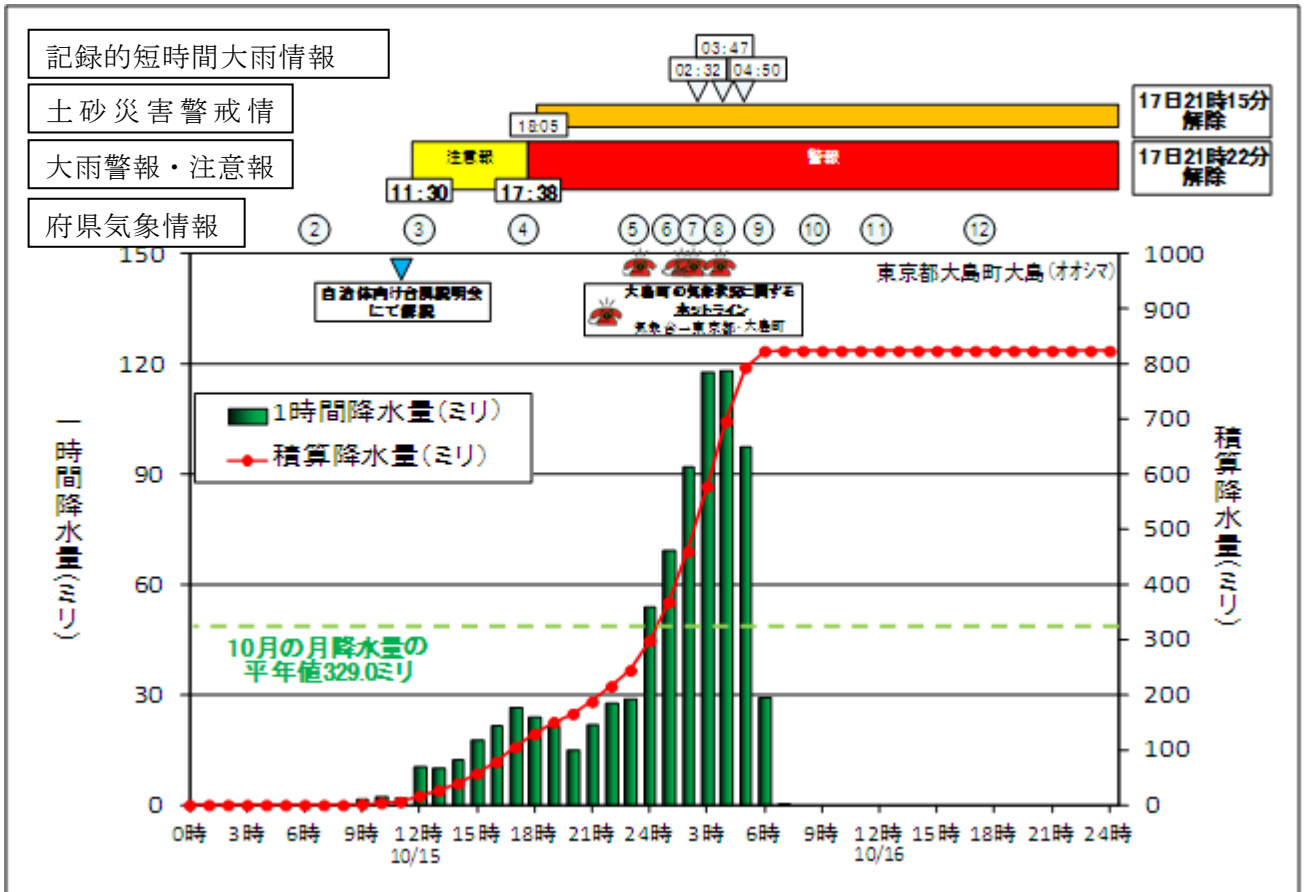


台風 26 号の進路



台風 26 号の進路（日本域拡大）

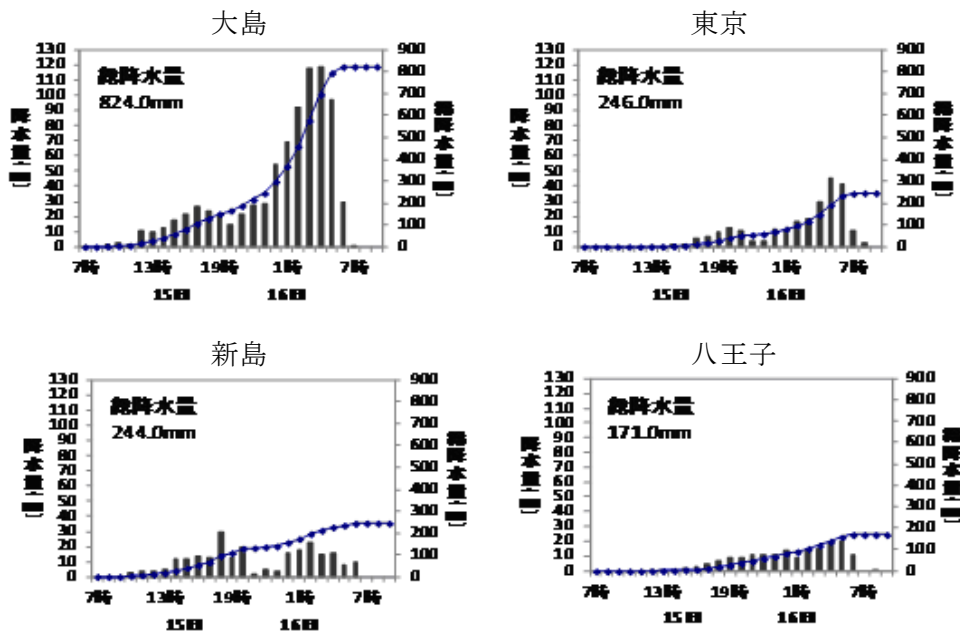
（平成 25 年 10 月 18 日 東京管区気象台「平成 25 年 台風第 26 号に関する東京都気象速報」



警報注意報発表状況、降水量（時系列）（台風 26 号）

（平成 25 年 10 月 18 日 東京管区気象台「平成 25 年 台風第 26 号に関する東京都気象速報」）

○降水量の推移（主な 4 地点）



平成 25 年 10 月 15 日 6 時～16 日 9 時までの時系列図

（平成 25 年 10 月 18 日 東京管区気象台「平成 25 年 台風第 26 号に関する東京都気象速報」）

## イ 行政の初動対応

大島に大規模な土砂災害を引き起こした台風 26 号の接近に伴う、東京都（総務局総合防災部、建設局河川部）及び国（気象庁）並びに大島町の初動期の連絡態勢について、以下のとおりまとめる。

なお、東京都・大島町・国の態勢については、99 頁以降を参照

### ・10 月 15 日（火）

11 時 00 分

都と気象庁は、都庁第一本庁舎防災センターにて「台風 26 号説明会」を共同開催した。そのなかで、気象庁は台風 26 号について以下のとおり説明している。

◆台風 26 号は、現在南大東島の東を時速 25km で北に進んでいる。中心気圧は 940 ヘクトパスカル、中心付近の最大風速 40m、最大瞬間風速 60m

◆台風は次第に進路を北東に変え、暴風域を伴って 16 日（水）には東日本太平洋側にかなり接近する。

◆台風 26 号の再接近時間は、16 日（水）の未明から昼前

◆雨量は、東京地方の再接近時間帯に 1 時間最大 50mm、大島は、15 日（火）夜のはじめ頃から 16 日（水）朝にかけて 1 時間最大 50mm（注意報レベル）、最大風速 28m（警報レベル）最大波高 8 m（警報レベル）という内容であった。

17 時 38 分

気象庁が大雨（浸水害・土砂災害）・洪水警報発表。対象地区は、23 区（西部・東部）、多摩部（北部・西部・南部）、と伊豆諸島北部（大島町）、伊豆諸島南部（三宅島）

都は、警報が発表された都内全区市町村へ音声一斉通信システムで警報内容を伝達（警報文は 18 時 05 分の東京都土砂災害警戒情報とあわせて FAX 送信）

17 時 38 分

都建設局が東京都水防本部を設置

17 時 51 分

都は、警報が発表された全区市町村に DIS（東京都災害情報システム）にて態勢の報告を行うよう一斉 FAX で伝達

18 時 05 分

気象庁と建設局が東京都土砂災害警戒情報第 2 号（大島）を共同発表

都は、17 時 38 分発表の大雨（浸水害・土砂災害）・洪水警報とあわせて、都内全区市町村に本情報を一斉 FAX で送信（うち大島町を含む 5 区市町村は受信確認ボタンを押さず。）

19時25分 17時51分に態勢の報告を行うよう一斉FAXで伝達した結果、報告がなかった大島町を含む22区市町村に電話で問い合わせ。このうち、大島町は電話を受ける者がいなかったため、大島支庁総務課に大島町の態勢を確認するよう依頼。大島支庁総務課からは、「大島町の担当は全員帰宅。1時30分参集する予定」である旨回答を受けた。

21時21分 気象庁が23区（西部・東部）、多摩部（北部・西部・南部）、大島（利島・新島・神津島含む。）、三宅島（御蔵島含む。）、八丈島（青ヶ島含む。）に暴風警報を発表  
都は、暴風警報が発表された都内の区市町村に本情報を一斉FAXで送信（うち大島町を含む7市町村は受信確認ボタンを押さず。）

・10月16日（水）

0時00分頃 気象庁より大島に降っている雨について「尋常ならざる状況になる危険性がある」との連絡を受ける。  
都は、大島町総務課に電話し注意喚起

1時00分頃 気象庁より大島に降っている雨について「尋常ならざる状況になりつつある」との連絡を受ける。都は、再び、大島町総務課に電話し注意喚起

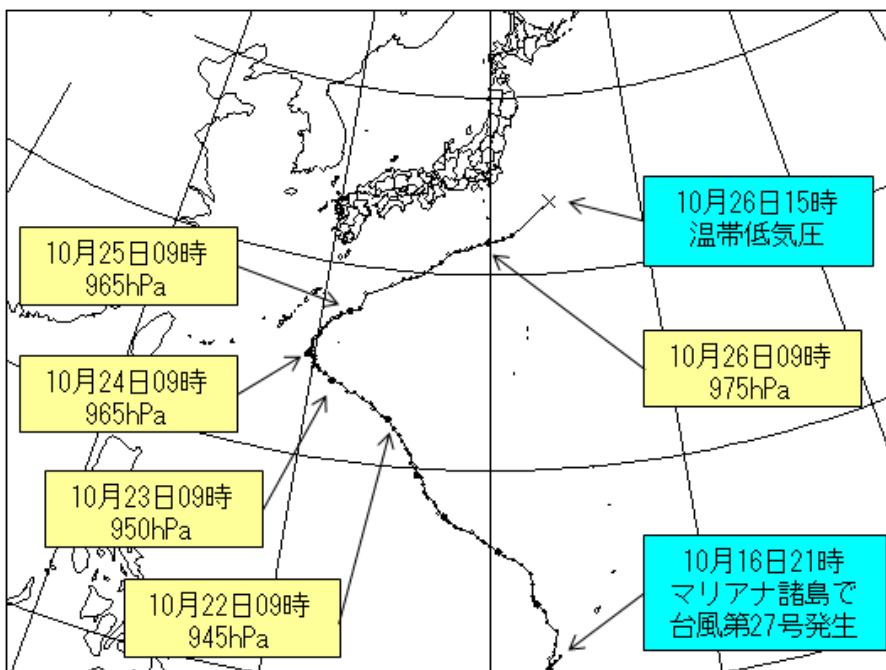
4時30分頃 気象庁に台風26号の状況を照会。気象庁は「大島で尋常でない雨が降っており、この状況があと2～3時間続く」という回答。「特別警報の可能性は？」との問い合わせに対しては、「特別警報の予定は無い」との回答だった。

## (2) 台風 27 号

### ア 気象庁情報

(ア) 平成 25 年 10 月 16 日 (水) 21 時にマリアナ諸島付近で発生した台風 27 号は、発達しながら日本の南海上を北上し、24 日 (木) から 25 日 (金) にかけて沖縄県の大東島付近を通過した後、進路を東北東へ変え、速度を速めながら 26 日 (土) にかけて本州の南岸を進み、26 日 (土) 午前中に伊豆諸島を通過した。その後、台風は 26 日 (土) 15 時に日本の東で温帯低気圧になった。

(イ) この台風と本州の南岸に停滞する前線により、南西諸島と西日本から東日本にかけての太平洋岸を中心に広い範囲で大雨、暴風となった。



(平成 25 年 10 月 28 日 東京管区気象台「平成 25 年 台風第 27 号に関する東京都気象速報」)

<10 月 23 日～25 日の各 16 時時点の台風 27 号、28 号に関する気象情報 (大島) >

東京都と気象庁が、10 月 23 日 (水) から 3 日間におわたって 16 時より、台風 27 号説明会を都庁第一本庁舎 9 階の防災機関室にて開催した時の予報である。

- ・ 23 日 (水) : 台風 27 号及び台風 28 号の現在位置と進路予報について説明
- ・ 24 日 (木) : 台風 27 号の伊豆諸島の最接近 (八丈島付近を通過) は「26 日 (土) 朝から昼過ぎ」。雨は 25 日 (金) 午後から 26 日 (土) 午前の 24 時間で 200～300mm の雨が降るおそれあり。風は 26 日 (土) 未明から 20m/s 以上の非常に強い風が吹き、波も 6 m を超える大しけとなる

#### 予報と説明

- ・ 25 日（金）：台風 27 号の最接近は 26 日（土）昼前から昼過ぎ。雨の予想は 26 日（土）の未明から明け方にかけて 1 時間最大 80mm、風が最も強まる時間帯は 26 日（土）明け方から朝で大島が北東の風 20m/s、波は 26 日（土）朝から昼前にかけて大島で最大 6 m との説明

#### イ 行政の初動対応

台風 27 号が接近してから通過するまでの平成 25 年 10 月 21 日（月）から 26 日（土）にかけての東京都（総務局総合防災部、建設局河川部）及び国（気象庁）並びに大島町の初動期の連絡態勢について、以下のとおりまとめる。

なお、東京都・大島町・国の態勢については、99 頁以降を参照

- ・ 10 月 21 日（月）
  - 16 時 28 分 東京都災害即応対策本部長「台風 27 号への対応に際しての留意点」を全区市町村あてにメール、一斉 FAX で送信
- ・ 10 月 23 日（水）
  - 14 時 27 分 気象庁「東京都島しょ町村への連絡体制の強化について」を全区市町村あてにメール、一斉 FAX で送信
  - 14 時 54 分 国土交通省「台風第 27 号に対する土砂災害警戒情報等の適切な活用について（周知）」を一斉 FAX で全区市町村あて送信
  - 16 時 00 分 都庁第一本庁舎防災機関室にて第 1 回台風 27 号説明会開催
- ・ 10 月 24 日（木）
  - 14 時 44 分 「内閣総理大臣指示事項」について、一斉 FAX で全区市町村あて送信
  - 16 時 00 分 都庁第一本庁舎防災機関室にて第 2 回台風 27 号説明会開催
- ・ 10 月 25 日（金）
  - 1 時 13 分 全区市町村へ台風 27 号、28 号への対応調査表（警報発令時の態勢や避難所の準備状況）をメール、一斉 FAX で送信
  - 16 時 00 分 都庁第一本庁舎防災機関室にて第 3 回台風 27 号説明会開催
  - 17 時 14 分 気象庁が 23 区（西部・東部）、多摩（北部・西部・南部）に大雨・洪水警報を発表。都は、該当の区市町村に本情報を一斉 FAX で送信。建設局は水防本部を設置

- 17 時 20 分 大島町にて元町地区（元町長沢流域の黒まま、大津、長沢ほか 21 地区）、泉津地区（開拓地区を除く地区）、岡田地区（字川の道の一部の地区）に避難指示発令
- 18 時 55 分 気象庁が伊豆諸島北部に大雨・洪水警報を発表  
 都は、伊豆諸島北部の各島に本情報を一斉 FAX で送信
- 21 時 15 分 気象庁が大島・新島・三宅島・八丈島に波浪警報を発表  
 都は、対象町村に本情報を一斉 FAX で送信
- ・ 10 月 26 日（土）
- 5 時 18 分 気象庁が、23 区（西部・東部）、多摩（北部・西部・南部）、新島の大雨・洪水警報を解除  
 都は、対象区市町村に本情報を一斉 FAX で送信
- 15 時 28 分 気象庁が大島の大雨警報を解除  
 都は、伊豆諸島北部の各島に本情報を一斉 FAX で送信
- 15 時 33 分 大島町は、全島の避難勧告を解除（避難指示は継続）
- 17 時 24 分 大島町は、元町、泉津、岡田地区の避難指示を解除



## 2 具体的な被害状況

### (1) 土砂災害等

#### ア 土砂災害

平成 25 年 10 月 15 日（火）から 16 日（水）にかけての台風 26 号の通過により、大島は観測史上最大の大雨に見舞われた。16 日（水）2時から3時頃にかけて、元町地区上流域の大金沢を中心とした溪流において、流木を伴った土石流が発生するなど土砂災害が発生した。長沢では比較的面積の広い表層崩壊が発生し、土砂と倒木を流下させた。八重沢、大宮沢では、枝分かかれた樹木のように沢の土砂が面的に流出した。大金沢では、表層崩壊が斜面の広い範囲で発生し、大量の土砂と倒木を流下させた。

大規模な土砂崩壊が生じた付近は、 $30^{\circ}$  から  $40^{\circ}$  の急勾配でもろい地質を有していた斜面に、長時間にわたり強い強度の雨が降り続いた地域である。

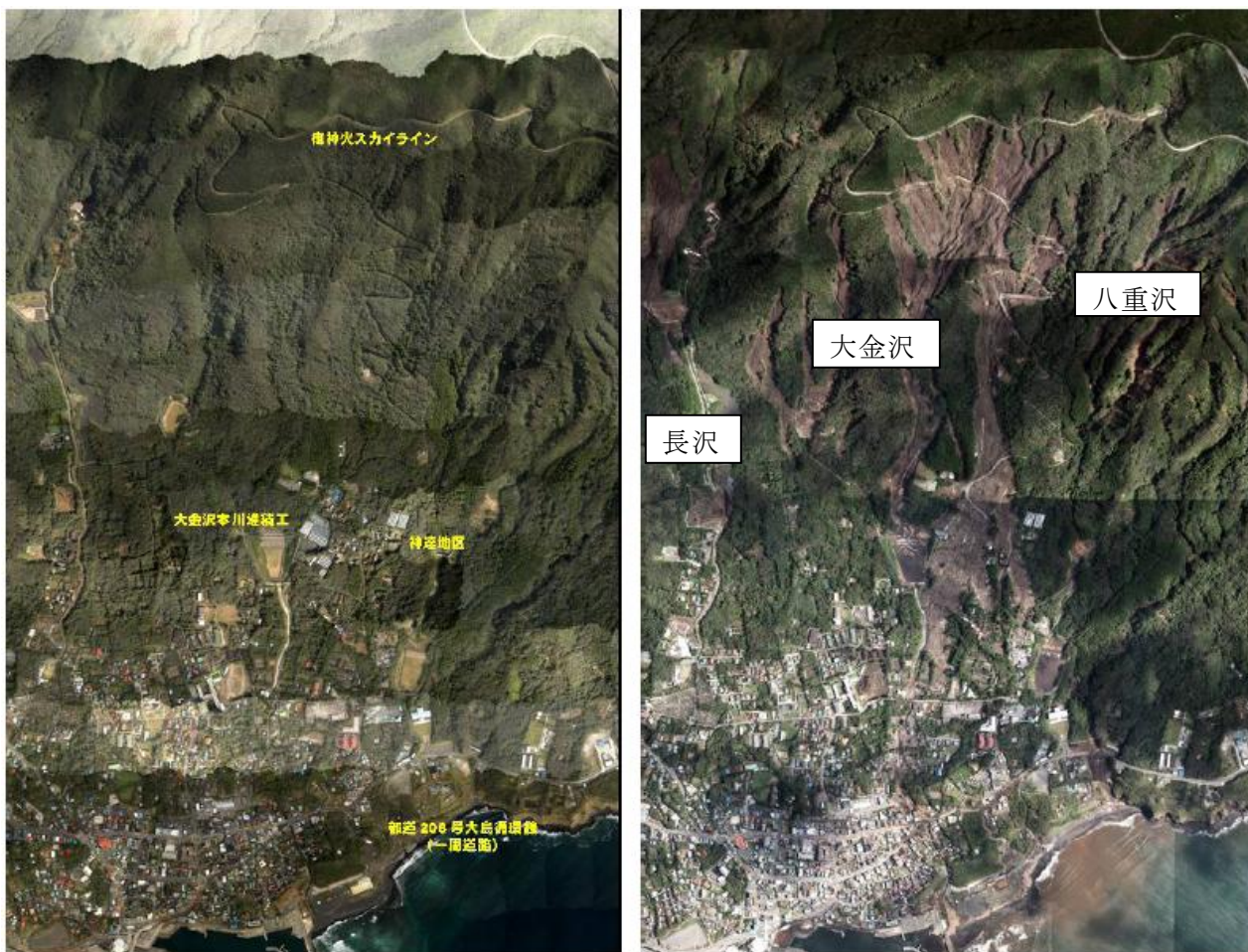


図 土砂災害前後の空中写真（左：国土地理院 H24.4 撮影，右：H25.10.17 東京都撮影）

（伊豆大島土砂災害対策検討委員会討議資料より）

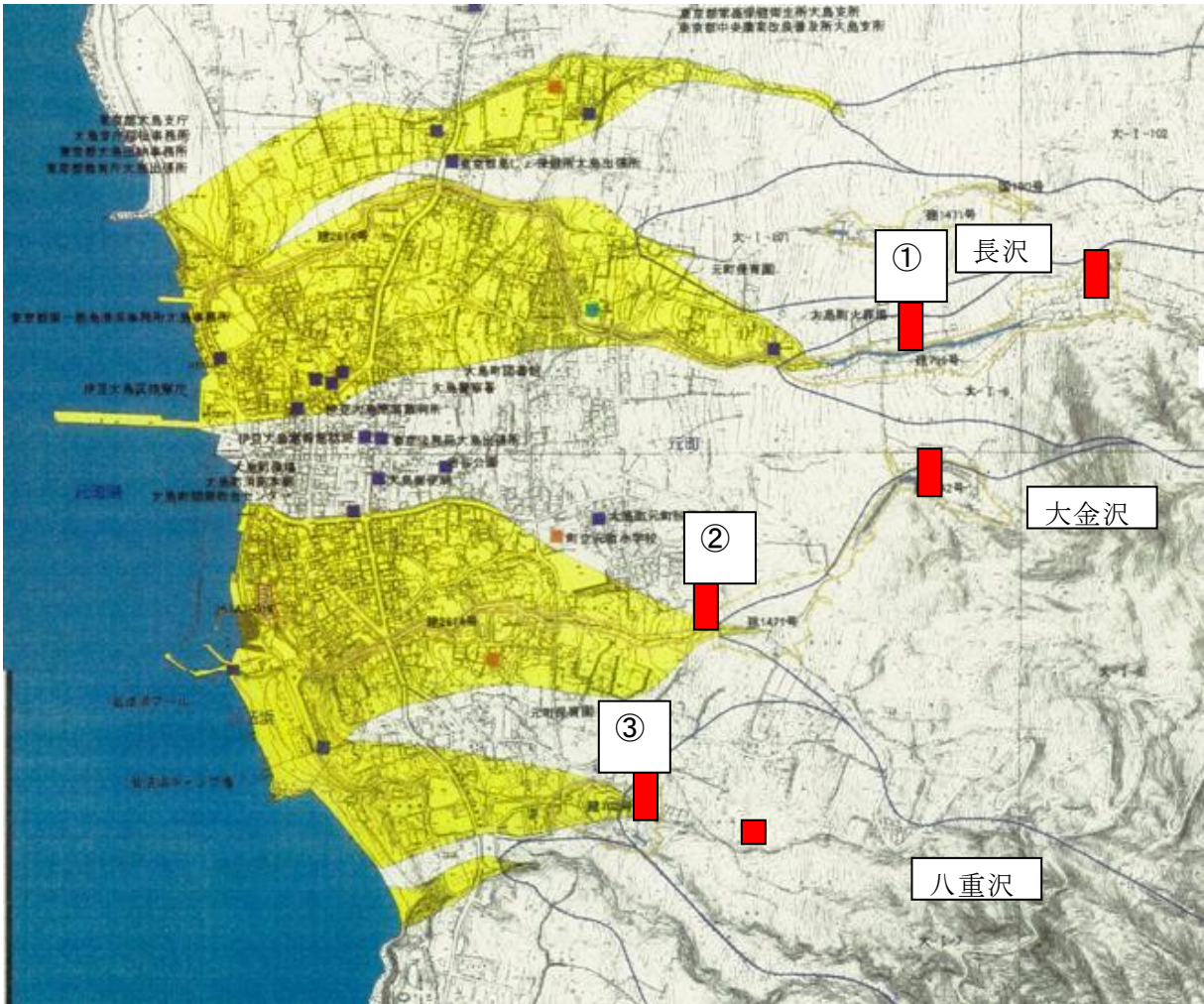


土砂流出と原型を留めていない被災車両



流木等により閉塞された丸塚橋

元町地区における砂防施設の土砂等捕捉状況

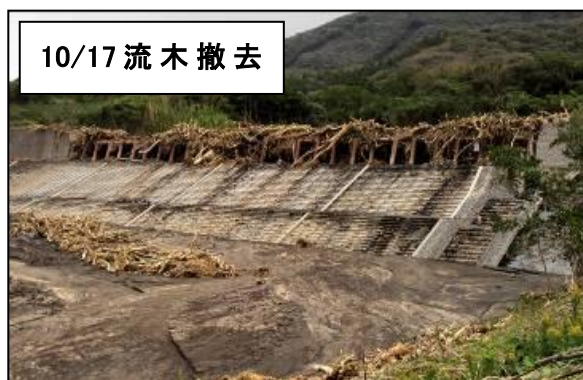


堆積工
  堰堤工

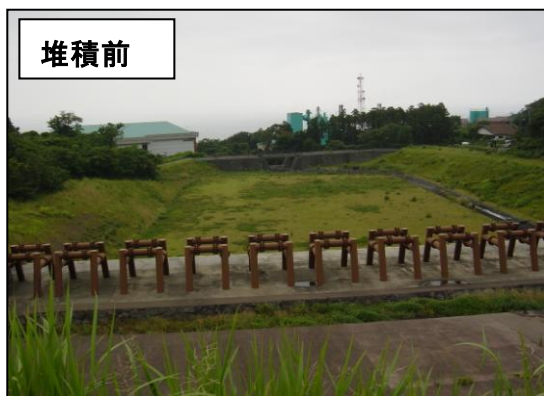
① 長沢堆積工



② 大金沢堆積工



③ 八重沢堆積工



## イ 山地災害

大島北東部の泉津地区では、16日（水）未明の大雨により、森林区域内3か所で山腹が崩壊し、道路、集落、溪流に土砂が流出した。また、森林区域内において岡田地区3か所、波浮港地区1か所、元町地区4か所でも同様に山腹崩壊が起こり、道路、集落、漁港に土砂が流出した。

地区名	箇所数
元町	4か所
泉津	3か所
岡田	3か所
波浮港	1か所
計	11か所



## (2) 人的被害

### ア 死亡

大島町 35 名（男性 15 名、女性 20 名）

### イ 負傷者（10 月 16 日島外搬送者数）

東京消防庁搬送 2 名

海上自衛隊搬送 5 名 計 7 名

### ウ 行方不明

4 名

※行方不明者…想定被害地域において大島町役場による安否確認の電話連絡がとれない住民

## (3) 物的被害

### ア 道路

#### (ア) 都道

- ・都道上に土砂が堆積した。
- ・都道大島循環線（野増地区）が被災した。



都道大島循環線（野増地区）の被災状況と応急仮復旧状況



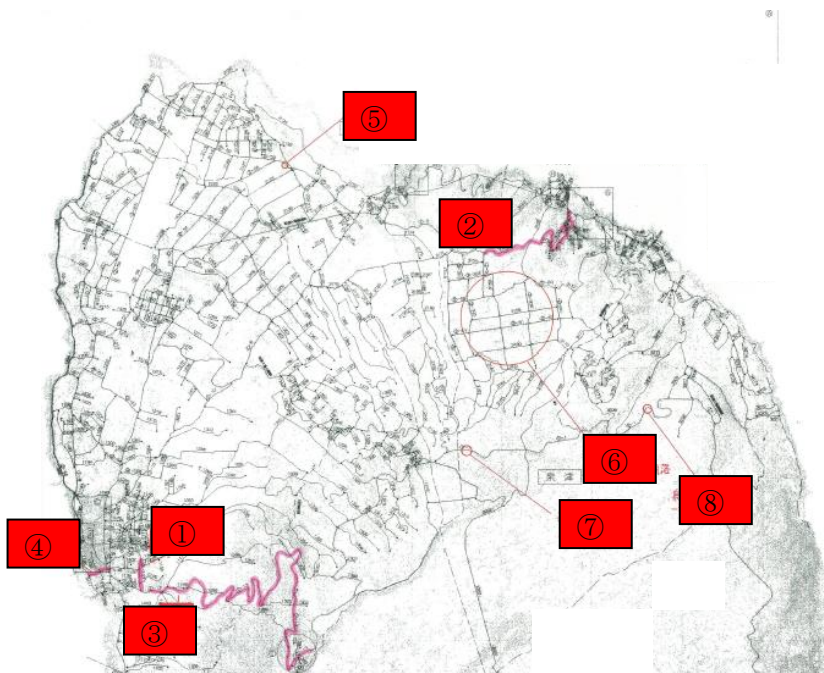
都道と大金沢流路の交差部



道路に流入し、氾濫、堆積した土砂や流木

(イ) 町道

場所	被害状況
①出払1号線	平成25年10月16日、つばき小学校地点から元村三原山線に接するまでの約600mで通行止め
②岡田泉津黒汐線	10月16日、泉津開拓地点から泉津出張所前までの約1,800mで通行止め
③元村三原山線 (御神火スカイライン)	ホテル椿園地点から三原山山頂までの約6kmで通行止め
④元町漁港線	元町丸市地点から弘法浜までの約300mで通行止め
⑤橋の本牧場線	路肩部分の一部が崩落
⑥泉津開拓	道路崩落が数か所発生
⑦泉津湯場線	路肩部分の一部が崩落
⑧泉津湯場線	一部で土砂崩れが発生



被害箇所地図（大島町提供）※地図中の番号は道路名称の番号に対応



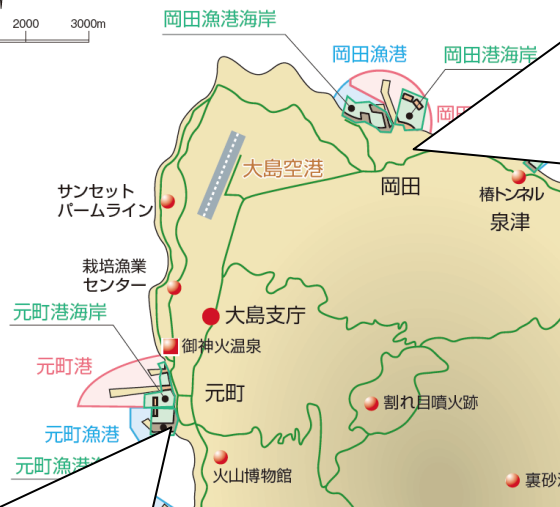
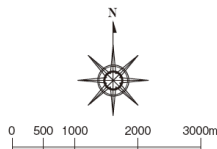
泉津地区の町道の被災状況（大島町撮影）



御神火スカイラインへの土砂流入と道路崩落（大島町撮影）

## イ 港湾施設等

- (ア) 元町港、岡田港、波浮港、元町漁港、岡田漁港、野増漁港及び泉津漁港の7港において、岸壁や道路等陸上部に土砂や流木が堆積した。
- (イ) 元町港、元町漁港及び元町漁港海岸において、山から流出した土砂や流木が海中に流れ込み、埋塞が発生した。この元町地区における土砂等の堆積が非常に多く、撤去作業に係る負担も大きなものとなった。
- (ウ) 岡田漁港において、斜面が崩壊し、道路埋塞が発生した。



岡田地区における斜面崩壊による道路埋塞



元町地区における土石流による土砂・流木堆積  
(株式会社パスコ撮影)



ウ 農林漁業

(ア) 農地

被災地区名	地区面積 (a)	被害面積 (a)	被害程度 (%)	被害農家数 (戸)	被害金額 (千円)
元町字神達	200	200	100	3	200,000

(イ) 農業施設

対象施設	被害農家数	被害施設数	被害の詳細	被害金額 (千円)
栽培施設	22 戸	110 棟	全壊 31 棟、一部損壊 79 棟を確認 (鶏舎含む)。被害面積 1.8ha	23,960
栽培関連施設	2 戸	2 棟	堆肥舎、貯水槽 (神達の土砂くずれにより全壊)	5,500
農業機械	2 戸	2 台	油圧ショベル、トラクター (神達の土砂くずれにより全壊)	5,000
計				34,460



土砂により崩壊した元町地区の農業施設

(ウ) 農作物等

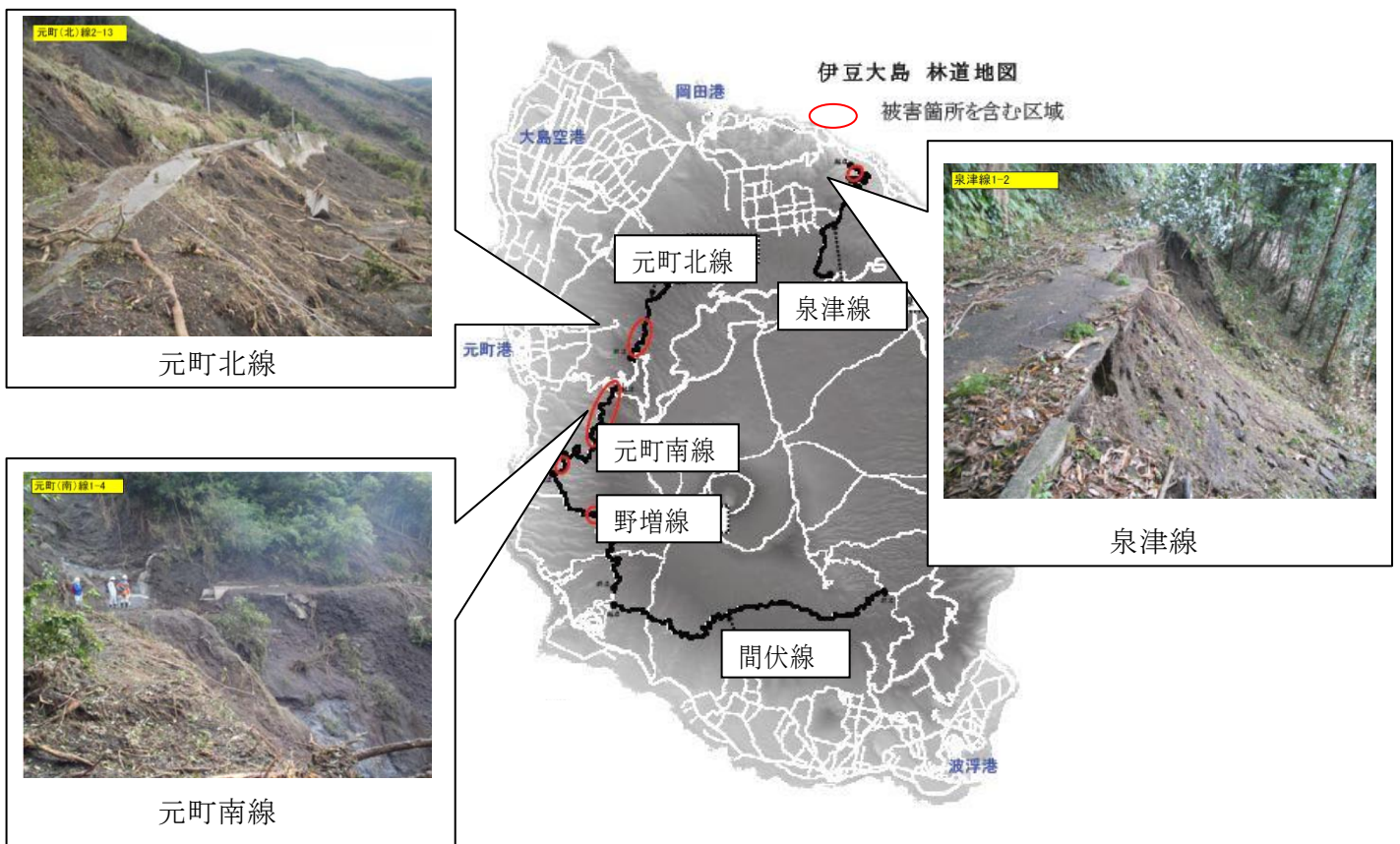
対象農作物	被害農家数 (戸)	被害面積 (a)	被害程度 (%)	10a 当り収量 (kg)	kg 単価 (円)	被害金額 (千円)
アシタバ (露地)	15	200	29	1,261	495	3,620
ブバルディア (施設)	2	57			48	53,163
パンジー (鉢物)	1	1	100			156
野菜類	5	100	50	1,550	386	2,992
その他 (花卉・切葉類)	2	68				44,733
計						104,664



(エ) 林道

大雨及び大雨に伴う山腹崩壊により、5 路線 44 か所において路体の流出、路面・路肩の崩壊など林道が被災した。

路線名	開設延長 (km)	被害箇所
泉津線	4.2	6
元町北線	2.0	14
元町南線	3.5	19
野増線	4.0	4
間伏線	8.0	1
合計	21.7	44



(オ) 漁場

- ・弘法浜等において、土砂や倒木が沿岸海域まで押し流され、これに伴う海水の変色を確認した。
- ・元町漁港沖等では、海底における倒木等の堆積を確認した。



元町地区の状況（株式会社パスコ撮影）

エ ライフライン

(ア) 停電状況の推移（大島町）

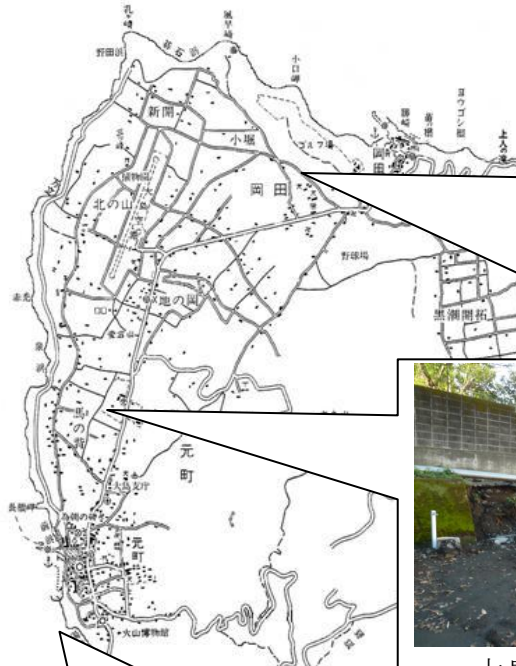
10月18日（金）11時30分時点～ 10月20日（日）18時00分時点	110件
10月21日（月）9時00分時点	7件
10月21日（月）18時00分時点～ 10月24日（木）18時00分時点	2件
10月25日（金）11時00分時点～ 10月29日（火）18時00分時点	1件
10月30日（水）11時00分時点	0件

(イ) 断水状況の推移（大島町調べ）

10月16日（水）	約3,000世帯 約5,000人
10月17日（木）	約500世帯 約900人
10月18日（金）～10月19日（土）	約400世帯
10月20日（日）～10月21日（月）	約100世帯 約190人
10月22日（火）	28世帯 55人
10月23日（水）～10月28日（月）	15世帯 33人
10月29日（火）～10月31日（木）	13世帯 29人
11月1日（金）	1世帯 4人
11月2日（土）	0世帯 0人

#### オ 教育施設等

- ・大島町弘法浜プールで、土砂が流入する被害が発生した。
- ・大島町立第一中学校テニスコートで、コンクリートブロック壁が倒壊する被害が発生した。
- ・大島町立第二中学校駐輪場で、屋根等が破損する被害が発生した。



大島町立第二中学校駐輪場（大島町撮影）



大島町立第一中学校テニスコート（大島町撮影）



大島町弘法浜プール（大島町撮影）

#### カ 医療施設等

- ・大島医療センターについては、10月16日（水）2時20分頃から9時30分頃まで停電が生じたが、その間自家発電装置の稼動により電力が供給された。また、施設の水道は使用可能であり、近辺まで土砂が迫ってきていたものの、土砂流入や施設の破損もなく、当該医療施設は診療継続が可能な状況であった。
- ・島しょ保健所大島出張所については、10月16日（水）3時6分から9時50分まで及び10月20日（日）17時13分から17時51分までの2回、

停電が発生した。また、10月16日（水）の停電に伴い電話の通信回線がダウンした。土砂流入や施設の破損、断水などの被害はなかった。

#### キ その他施設

##### （ア）宿泊関係

ホテル椿園ほか5施設が土石流等により損傷した。

##### （イ）商店及び商店経営者関係

25施設が土石流等により損傷した。

##### （ウ）教職員住宅

- ・家の上住宅及び八重川第二住宅では駐車場に大量の土砂が流入した。
- ・泉津住宅2号棟では、倒木により2階窓柵及び電気配管の一部が破損した。

##### （エ）その他行政施設

大島公園では、動物園地区においてはキョン舎の倒壊など数か所で施設の一部が破損し、その他各管理地区においても風雨や土砂流入による枝折れ、倒木などの被害が発生した。

#### ク 建物

（建物被害認定調査結果 平成25年11月29日公表〔平成25年11月24日現在〕）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
住家	71	15	25	92	203
非住家	62	9	25	86	182
合計	133	24	50	178	385